

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 [サービス提供体制強化加算 (I) 用]

記載例①

( 22 年 12 月分) サービス種類 ( 介護医療院・短期入所療養介護 ( 予防 ) )  
 事業所番号 ( 1 4 0 0 0 0 0 0 0 ) 事業所名 ( ○○○○介護医療院 )  
 療養棟種別・療養棟名・床数 ( I 型療養棟 ○○療養棟 ・ ○ 床 )

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月の合計	常勤換算後の人数		
				曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		7	9		8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○			8	8	8	8	8			8	8	7	9	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○			7	9		8	7	9		7	9		8	8	8		7	9		7	9	8		7	9		8	7	9		7	9	176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		9		8	7	9		8	8		8	8	7	9	8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		8	8		177	1.0			
介護職員	A		○○ ○○		8	8	7	9		8	8	8	7	9		7	9		7	9		8	7	9		8	8		7	9		8	7	9	7	175	1.0		
介護職員	A		○○ ○○		8	8			7	9	7	9	8			8	7	9	8	8			8	7	9	8	8			7	9	8	8	8	176	1.0			
介護職員	C	介護福祉士	○○ ○○		8		8			8		8		8			8		8		8			8		8		8			8		8		8	112	0.6		
介護職員	C		○○ ○○					4		8					4					8		4					8		4					8	48	0.3			
計																																						1,216	6.9

[常勤専従職員 6人]  
 + ( [非常勤職員等の勤務時間数合計 160時間 (112+48)]  
 ÷ [常勤職員 of 1ヶ月間における勤務すべき時間数 176.8時間]

<記載上の注意事項>

- 職種は、介護職員のみ記載してください
- 勤務形態は、A～Dのいずれかのアルファベットを記載してください。(A：常勤専従、B：常勤兼務、C：非常勤専従、D：非常勤兼務)
- 資格は、介護福祉士の場合は「介護福祉士」と記載し、それ以外の資格は記載しないでください。
- 勤務時間は、原則として勤務時間数で記載してください。「日」「早」「遅」等の記号を用いる場合は、それぞれの勤務時間数を別に記載してください。
- 常勤換算方法について  
 常勤換算数・・・「常勤専従職員の人数」+ (「非常勤職員等の勤務時間数合計」÷「常勤職員 of 1ヶ月間における勤務すべき時間数 (e) )」  
 計算は、すべて小数点第2以下切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数・勤務時間

週 5 日 (a)      週 40 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

日 8 時間 (c) = (b) ÷ (a)

当該月において常勤職員が通常勤務すべき日数

月 22.1 日 (d)

(常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合・・・当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数)

(常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算 [(d) = (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7]

常勤職員 of 1ヶ月間における勤務すべき時間数

月 176.8 時間 (e) = (c) × (d)

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表 [サービス提供体制強化加算 (I) 用]

記載例②

( 30 年 12 月分) サービス種類 ( 介護医療院・短期入所療養介護 ( 予防 ) )  
 事業所番号 ( 1 4 0 0 0 0 0 0 0 0 ) 事業所名 ( ○○○○介護医療院 )  
 療養棟種別・療養棟名・床数 ( I 型療養棟 ○○療養棟 ・ 40 床 )

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月の合計	常勤換算後の人数
				曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		夜	明		早	日		早	夜	明		遅	日		日	夜	明		早	早		遅	夜	明		早	日		早	夜	明		176	1.0
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○			早	遅	遅	早	早			早	早	夜	明	日			早	早	遅	遅	日			早	日	遅	早	早			早	遅	176	1.0
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○			夜	明		遅	夜	明		夜	明		早	早	早		夜	明		夜	明	日		夜	明		遅	夜	明		夜	明	176	1.0
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		明		早	夜	明		遅	早		遅	早	夜	明	遅	遅		遅	夜	明		早	日		早	夜	明		日	早			177	1.0
介護職員	A		○○ ○○		早	遅	夜	明			日	遅	遅	夜	明	日			夜	明		夜	明		早	夜	明		夜	明		日	夜	明	夜	175	1.0
介護職員	A		○○ ○○		日	日			夜	明	夜	明	日			遅	夜	明	日	遅			日	夜	明	日	遅			夜	明	遅	遅	遅		176	1.0
介護職員	C	介護福祉士	○○ ○○		遅		日			遅		日		日			遅		早		日			遅		日	遅			遅		日		早		112	0.6
介護職員	C		○○ ○○					AM		日					AM					日		AM					日	AM					日		48	0.3	
																																	計	1,216	6.9		

<記載上の注意事項>

- 職種は、介護職員のみ記載してください
- 勤務形態は、A～Dのいずれかのアルファベットを記載してください。(A：常勤専従、B：常勤兼務、C：非常勤専従、D：非常勤兼務)
- 資格は、介護福祉士の場合は「介護福祉士」と記載し、それ以外の資格は記載しないでください。
- 勤務時間は、原則として勤務時間数で記載してください。「日」「早」「遅」等の記号を用いる場合は、それぞれの勤務時間数を別に記載してください。
- 常勤換算方法について

常勤換算数・・・「常勤専従職員の人数」+（「非常勤職員等の勤務時間数合計」÷「常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数（e）」）  
 計算は、すべて小数点第2以下切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数・勤務時間

週 5 日 (a)      週 40 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

日 8 時間 (c) = (b) ÷ (a)

当該月において常勤職員が通常勤務すべき日数

月 22.1 日 (d)

(常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合・・・当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数)

(常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算 [(d) = (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7])

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数

月 176.8 時間 (e) = (c) × (d)

シフト時間割

日： 9:00 ～ 18:00	8時間勤務
早： 7:00 ～ 16:00	8時間勤務
遅： 11:00 ～ 20:00	8時間勤務
AM： 9:00 ～ 13:00	4時間勤務
PM： 14:00 ～ 18:00	4時間勤務
夜： 16:00 ～ 24:00	7時間勤務
明： 0:00 ～ 9:30	9時間勤務

[常勤専従職員 6人]  
 + ( [非常勤職員等の勤務時間数合計 160時間 (112+48)]  
 ÷ [常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 176.8時間]

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表 [サービス提供体制強化加算 (Ⅱ) 用]

記載例①

( 22 年 12 月分) サービス種類 ( 介護医療院・短期入所療養介護 ( 予防) )  
 事業所番号 ( 1 4 0 0 0 0 0 0 0 ) 事業所名 ( ○○○○介護医療院 )  
 療養棟種別・療養棟名・床数 ( I型療養棟 ○○療養棟 ・ ○ 床 )

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月の合計	常勤換算後の人数		
				曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
看護職員	A	正看護師	○○○○		7	9		8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		176	1.0		
看護職員	A	准看護師	○○○○			8	8	8	8	8			8	8	7	9	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○○○			7	9		8	7	9		7	9		8	8	8		7	9		7	9	8		7	9		8	7	9		7	9	176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○○○		9		8	7	9		8	8		8	8	7	9	8	8		8	7	9		8	8		8	7	9		8	8		177	1.0			
介護職員	A		○○○○		8	8	7	9		8	8	8	7	9		7	9		7	9		8	7	9		7	9		7	9		8	7	9	7	175	1.0		
介護職員	A		○○○○		8	8			7	9	7	9	8			8	7	9	8	8			8	7	9	8	8			7	9	8	8	8	176	1.0			
介護職員	C	介護福祉士	○○○○		8		8			8		8		8			8		8		8			8		8		8			8		8		8	112	0.6		
介護職員	C		○○○○					4		8					4					8		4					8		4					8	48	0.3			
計																																						1,216	6.9

[常勤専従職員 6人]  
 + ( [非常勤職員等の勤務時間数合計 160時間 (112+48)]  
 ÷ [常勤職員の1ヵ月間における勤務すべき時間数 176.8時間]

<記載上の注意事項>

- 職種は、看護職員か介護職員のいずれかを記載してください
- 勤務形態は、A～Dのいずれかのアルファベットを記載してください。(A：常勤専従、B：常勤兼務、C：非常勤専従、D：非常勤兼務)  
 介護療養型医療施設と短期入所療養介護を一体的に実施している場合、勤務形態はB又はDとなります。
- 勤務時間は、原則として勤務時間数で記載してください。「日」「早」「遅」等の記号を用いる場合は、それぞれの勤務時間数を別に記載してください。
- 常勤換算方法について  
 常勤換算数・・・「常勤専従職員の人数」+ (「非常勤職員等の勤務時間数合計」÷「常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 (e) )」  
 計算は、すべて小数点第2以下切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数・勤務時間

週 5 日 (a) 週 40 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

日 8 時間 (c) = (b) ÷ (a)

当該月において常勤職員が通常勤務すべき日数

月 22.1 日 (d)

(常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合・・・当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足上げた日数)

(常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算 [(d) = (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7]

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数

月 176.8 時間 (e) = (c) × (d)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 [サービス提供体制強化加算 (Ⅱ) 用]

記載例②

( 21 年 10 月分) サービス種類 ( 介護医療院・短期入所療養介護 ( 予防 ) )  
 事業所番号 ( 1 4 0 0 0 0 0 0 0 ) 事業所名 ( ○○○○介護医療院 )  
 療養棟種別・療養棟名・床数 ( I 型療養棟 ○○療養棟 ・ ○ 床 )

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月の合計	常勤換算後の人数		
				曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			日	
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		夜	明		早	日		早	夜	明		遅	日		日	夜	明		早	早		遅	夜	明		早	日		早	夜	明		176	1.0		
看護職員	A	准看護師	○○ ○○			早	遅	遅	早	早			早	早	夜	明	日			早	早	遅	遅	日			早	日	遅	早	早			早	遅	176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○			夜	明		遅	夜	明		夜	明		早	早	早		夜	明		夜	明	日		夜	明		遅	夜	明		夜	明	176	1.0		
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		明		早	夜	明		遅	早		遅	早	夜	明	遅	遅		遅	夜	明		早	日		早	夜	明		日	早		177	1.0			
介護職員	A		○○ ○○		早	遅	夜	明			日	遅	遅	夜	明		夜	明		夜	明		早	夜	明		夜	明		日	夜	明		夜	175	1.0			
介護職員	A		○○ ○○		日	日			夜	明	夜	明	日			遅	夜	明	日	遅			日	夜	明	日	遅			夜	明	遅	遅	遅	176	1.0			
介護職員	C	介護福祉士	○○ ○○		遅		日			遅		日		日			遅		早		日			遅		日	遅			遅		日		早	112	0.6			
介護職員	C		○○ ○○					AM		日					AM				日		AM					日	AM						日		48	0.3			
計																																						1,216	6.9

[常勤専従職員 6人]  
 + ( [非常勤職員等の勤務時間数合計 160時間 (112+48)]  
 ÷ [常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 176.8時間]

<記載上の注意事項>

- 職種は、看護職員が介護職員のいずれかを記載してください
- 勤務形態は、A～Dのいずれかのアルファベットを記載してください。(A：常勤専従、B：常勤兼務、C：非常勤専従、D：非常勤兼務)  
 介護療養型医療施設と短期入所療養介護を一体的に実施している場合、勤務形態はB又はDとなります。
- 勤務時間は、原則として勤務時間数で記載してください。「日」「早」「遅」等の記号を用いる場合は、それぞれの勤務時間数を別に記載してください。
- 常勤換算方法について  
 常勤換算数・・・「常勤専従職員の人数」+ (「非常勤職員等の勤務時間数合計」÷「常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 (e) )  
 計算は、すべて小数点第2以下切り捨て

シフト時間割

日	9:00 ~ 18:00	8時間勤務
早	7:00 ~ 16:00	8時間勤務
遅	11:00 ~ 20:00	8時間勤務
AM	9:00 ~ 13:00	4時間勤務
PM	14:00 ~ 18:00	4時間勤務
夜	16:00 ~ 24:00	7時間勤務
明	0:00 ~ 9:30	9時間勤務

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数・勤務時間 週 5 日 (a) 週 40 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間 日 8 時間 (c) = (b) ÷ (a)

当該月において常勤職員が通常勤務すべき日数 月 22.1 日 (d)  
 (常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合・・・当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数)  
 (常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算 [(d) = (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7])

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 月 176.8 時間 (e) = (c) × (d)

従業員の勤務の体制及び勤務形態一覧表 [サービス提供体制強化加算 (Ⅲ) 用]

記載例①

( 22 年 12 月分) サービス種類 ( 介護医療院・短期入所療養介護 ( 予防 ) )  
 事業所番号 ( 1 4 0 0 0 0 0 0 0 0 ) 事業所名 ( ○○○○介護医療院 )  
 療養棟種別・療養棟名・床数 ( I 型療養棟 ○○療養棟 ・ ○ 床 )

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月の合計	常勤換算後の人数
				曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
理学療法士	A	理学療法士	○○ ○○		8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8		176	1.0
理学療法士	B	理学療法士	○○ ○○		6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6		132	0.7
作業療法士	B	作業療法士	○○ ○○		6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6		132	0.7
作業療法士	C	作業療法士	○○ ○○			8			8		8		8			8		8		8			8		8		8			8		8		8		104	0.5
作業療法士	C	作業療法士	○○ ○○		4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4		88	0.4
																																	計	632	4.5		

[常勤専従職員 2人]  
 + ( [非常勤職員等の勤務時間数合計 456時間 (132+132+104+88)]  
 ÷ [常勤職員の1ヵ月間における勤務すべき時間数 176.8時間]

<記載上の注意事項>

- 職種は、看護職員、介護職員、理学療法士、作業療法士のいずれかを記載してください
- 勤務形態は、A～Dのいずれかのアルファベットを記載してください。(A：常勤専従、B：常勤兼務、C：非常勤専従、D：非常勤兼務)  
 介護療養型医療施設と短期入所療養介護を一体的に実施している場合、勤務形態はB又はDとなります。
- 勤務時間は、原則として勤務時間数で記載してください。「日」「早」「遅」等の記号を用いる場合は、それぞれの勤務時間数を別に記載してください。
- 常勤換算方法について  
 常勤換算数・・・「常勤専従職員の人数」+ (「非常勤職員等の勤務時間数合計」÷「常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e) )  
 計算は、すべて小数点第2以下切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数・勤務時間 週 5 日 (a) 週 40 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間 日 8 時間 (c) = (b) ÷ (a)

当該月において常勤職員が通常勤務すべき日数 月 22.1 日 (d)  
 (常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合・・・当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足上げた日数)  
 (常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算 [(d) = (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7])

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 月 176.8 時間 (e) = (c) × (d)

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表 [サービス提供体制強化加算 (Ⅲ) 用]

記載例②

( 22 年 12 月分) サービス種類 ( 介護医療院・短期入所療養介護 ( 予防 ) )  
 事業所番号 ( 1 4 0 0 0 0 0 0 0 ) 事業所名 ( ○○○○介護医療院 )  
 療養棟種別・療養棟名・床数 ( I 型療養棟 ○○療養棟 ・ ○ 床 )

職 種	勤務形態	資 格	氏 名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	月の合計	常勤換算後の人数		
				曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			日	
理学療法士	A	理学療法士	○○ ○○		日	日			日	日	日	日	日			日	日	日	日			日	日	日	日	日			日	日	日	日	日			176	1.0		
作業療法士	B	作業療法士	○○ ○○		日6	日6			日6	日6	日6	日6	日6			日6	日6	日6	日6	日6			日6	日6	日6	日6	日6			日6	日6	日6	日6	日6			132	0.7	
作業療法士	C	言語聴覚士	○○ ○○		日4	日4			日4	日4	日4	日4	日4			日4	日4	日4	日4	日4			日4	日4	日4	日4	日4			日4	日4	日4	日4	日4			88	0.4	
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		夜	明			日	日	日	夜	明			日	日	日	夜	明			日	日	日	夜	明			日	日	日	夜	明			176	1.0	
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		日	日	夜	明		日		日	日	夜	明		日		日	日	夜	明		日		日	日	夜	明		日		日	日	夜			183	1.0
計																																					755	5.2	

[常勤専従職員 4人]  
 + ( [非常勤職員等の勤務時間数合計 220時間 (132+88)]  
 ÷ [常勤職員の1ヵ月間における勤務すべき時間数 176.8時間]

<記載上の注意事項>

- 職種は、看護職員、介護職員、理学療法士、作業療法士のいずれかを記載してください
- 勤務形態は、A～Dのいずれかのアルファベットを記載してください。(A：常勤専従、B：常勤兼務、C：非常勤専従、D：非常勤兼務)  
 介護療養型医療施設と短期入所療養介護を一体的に実施している場合、勤務形態はB又はDとなります。
- 勤務時間は、原則として勤務時間数で記載してください。「日」「早」「遅」等の記号を用いる場合は、それぞれの勤務時間数を別に記載してください。
- 常勤換算方法について  
 常勤換算数・・・「常勤専従職員の人数」+ (「非常勤職員等の勤務時間数合計」÷「常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e) )  
 計算は、すべて小数点第2以下切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数・勤務時間 週 5 日 (a) 週 40 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間 日 8 時間 (c) = (b) ÷ (a)

当該月において常勤職員が通常勤務すべき日数 月 22.1 日 (d)  
 (常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合・・・当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足上げた日数)  
 (常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算 [(d) = (a) × 4 + (月の日数 - 28) × (a) ÷ 7])

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数 月 176.8 時間 (e) = (c) × (d)